夕刊
磐城新聞
四月八日發行
定價　一ヶ月　金六拾五錢　一部　金五錢
廣告料金　普通欄　一行金六拾錢　特別欄　一行金九拾錢
發行兼編輯印刷人　柏[illegible]
發行所　磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇六五八五番

天氣豫報　小名濱測候所觀測
今晩は南西の風曇後晴
明日は西の風晴

繪畫研究に就て（上）

齊藤利彦

▽第一情操を陶冶する事

申すまでもなく音樂や繪畫は、かなり高度な文化でありまして、食ふ爲には必要でなくとも、生きる爲には、缺く事の出來ないものでありましてドナタでも繪畫の知識を深めその表現技術をのばす事は社會人としての生活を、一層、豐麗なものと致します。

特に、將來母たるべきか子に於て―子は母の乳房から感化されると申しますから……

▽第二―工夫する能力を養ふ事

『繪畫の學習』は、單に筆先を器用に使ふ練習を致すのでは御座いません。器用な兒は手綺麗に書きますがきまつて同じ向の顔や人物を並べます。そんな時、何んとか一工夫ありたいものと、つくづく思ひます。つまり『どんなものをでも、又はどんな風にでも描き得る力』即ち『咀嚼する力』を學ぶのが極めて肝要な事と存じます。この『工夫する力』が、將來、生産の主腦部門を擔當する價値のある人物を造るのではないでせうか？

▽第三―マトメル能力を養ふ事―

或る將校の方のお話でしたが『自分は學生時代に、もつとヅガを勉强して居ればよかつた』と申されました。成る程、軍人であるからヅガが上手であれば敵情の地圖を書くにも便利ですし、スケッチをして餘暇を樂しむ事も出來るし……とどなたもお思ひになられますね。處が違ふのです。その方のおつしやられたのは『軍を統帥する上に必要だ』と云ふ意味でした。『マトメル仕事の訓練―として』に一枚の紙の上で、而も一目で處理出來る點、ヅガ科が最適だ』と申されました。

一枚の紙の上に、ヅガを描くことが、こんな大きな仕事のお役に立つとは、全く思ひがけない事でした。

すべて人の上に立つ爲には『マトメル力』を必要とする事は、餘りにも明白であります。子供時代からヅガでその訓練を致しておきませう。

▽第四―偏した性格を正しくする事―

ウツカリすると『嚴密な繪』が上手で『亂暴な繪』が下手であるかのやうに、思はれ勝ちでありますが、一概にさうとは斷定出來ません。これは、その人の性格の顯れでありまして、技能の優劣のみとは申されませぬ。

たゞ、ヅガ學習の立場に子供のこの緻密過ぎる近視的性格や、粗暴過ぎる遠視的性格を、多少とも正しい方面に向はせる訓練を致すのであります。

▽第五―實力を伸ばす力を養ふ事―

處で『器用な手』を作る事は、目先の細かい事だけを敎へればよろしいのですから、指導の立場からは、いと易い事なのでありますが之に反して、『役立つ力』を養ふことは相當難かしく、かなり忍耐を要します。

陣中詠

入巻純一

○明時の谷の間に鶯の[illegible]すみとほる聲ひつゝきく

○滿洲の奥處に來り鶯の聲きゝをれば懷かしかりき

○演習の歸りに採りし草の花ビードルの瓶にさして樂しむ

○月光を仰ぎてをれば故郷の誰彼の顔つぎ／＼に浮ぶ

4月9日

△ベーコン歿す（一、六二六）△米國南北戰爭終る（一、八六五）△小牧長久手の戰（天正十二）

その頃／＼

○

持參金なくなる頃に持餘し　五厘錢

聞陷海南島

珠璽　小野踏平

于空于陸武威宣
領得南支制海權
皇旅堂々如破竹
瓊山城上旭旗翻

講談

恩讐無道（おんしうむどう）

久我荘多郎
香川三十代畫

(71)

―地の卷―

邏卒第一步（三）

人數は十二三人。手に手に獲物を提げた、尻切半纏一枚の裸虫である。裸體禁止の東京布達が出たのは、その年の十一月二十九日だから、この當時はまだ、駕籠かき人足などといふ手合はこんな風體で往來してゐたものだ。

その裸虫に、不意に取卷かれてち江は、

『アッ』

と悲鳴を擧げた。

ちようど、馬車から降りて來た惣介の肩へ、思はず獅嚙み付いたものである。

『お、お兄さま！』

『やあッ』

惣介も、ギョッとした。が、ち江親子をうしろへ庇つて一巡男たちの顔を見廻した彼は、不敵にニヤリとしたのだつた。

『まだ懲りないのか』

見覺えのある顔が見ゐる。あの永代町の暗い河岸での立廻りに、手傷を負つて歸つた三人の男が、顔や手へ膏藥をはつて、この人數に交つてゐた。

『先夜は大人しく歸つてやつたがあれでまだ、不足だといふのか』

『なにいつてやがるんでえ！』

と膏藥男の一人が、進み出たうしろに多勢の味方を控へてゐるから、男の鼻息はとても荒い。

『江戸の昔にや片手を擧げりや、御府内一帶、三千人の仲間を集めた籠寅だい。へん。御一新が來たからつてまだ老耄はしちやアゐねえしえいち、このまゝ濟までちや、この禿留兄哥の腹の蟲が納まらねえんだ』

脅えながらもち江は、惣介と裸虫との言葉のやりとりで、いつかの晩、兄が泥まみれの服で歸つて來た時の疑惑を、始めて解いた。

『おれを、どうしようといふのか？』

と兄が落付いて應酬すのを聞いて、惣介の腕を信じてゐながら、彼女の小さな胸は不安に疼く。

『どうもかうもねえ。だ――それッ。みんな！』

禿留といふ名の兄哥が、さッと合圖をすると十二三人のその裸虫無暴にもこの白晝、いなどのやうに惣介に跳りかゝつた。

『危ないッ。茅江！』

『お兄さまッ』

『馬車へはいつてゐろ。馬車に乘つて避けるんだ！』

飛んで來る棒を拂ひのけて、惣介は、けなげにいふ。

びつくりして、專之助はワアーッと泣き出した。茅江は、オロ／＼する。

『茅江、逃げないか。わしは――大丈夫だ』

命知らずの人足を相手に元氣でいふ兄の聲を聞いて茅江は氣を取直し、いそいで馬車へもぐり込んだ。

何といつても、場所が日本橋である。それだけに騷ぎは大きくなつた。見る人が踵を停まつて、爭ひを取卷いた。

その頃、この日本橋の向ふ詰に邏卒の出張所があつたから、すぐと騷ぎを聞き付けて、四五人の邏卒が驅け付けて來た。

『よさんか。喧嘩は止せッ』

と、口々に叫んで、六尺棒を振廻すのである。

邏卒の出張と知るや、暴れ者の裸虫は、一齊に逃げ散つてしまつた。邏卒たちは、それを追つた。

當時の邏卒は、いふまでもなく今日の巡査で、この名稱の改まつたのは、明治八年十月二十四日のこと。また、出張所とは、今の交番である。

『あ、待ち給へ』

駕籠かきたちが逃げたと知つて、ち江をいたはりながら惣介が、辨當をつかいにいつもの茶店へ行かうとすると、あとに殘つてゐた一人の若い邏卒が、うしろから呼び止めた。

『は』

『一應取調べるから、出張所まで來てもらひたい』

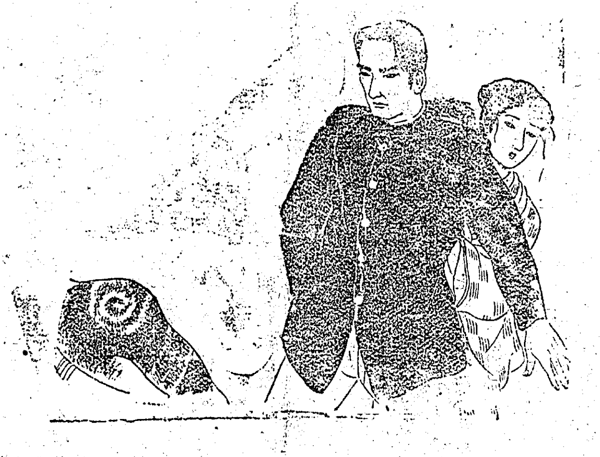
この言葉には、否むことは出來ない。

『お供いたしませう』

惣介が素直に、邏卒に引立てられやうとした時だつた。

『君、君。それには及ばんたら』

と、いつた者がある。



廣告

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

簡易ノ金融
磐城無盡
趣味ノ貯蓄
出張所縣內各町

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
金一圓五十錢以上
本品ハ商工省主催『代用品工業展覽會』ニ於テ一萬數千點ノ出品中萬年筆トシテハ只一點鑑査ニ合格セル新興國策製品ナリ
代理店　平市才土小路
魁文堂
電話813番

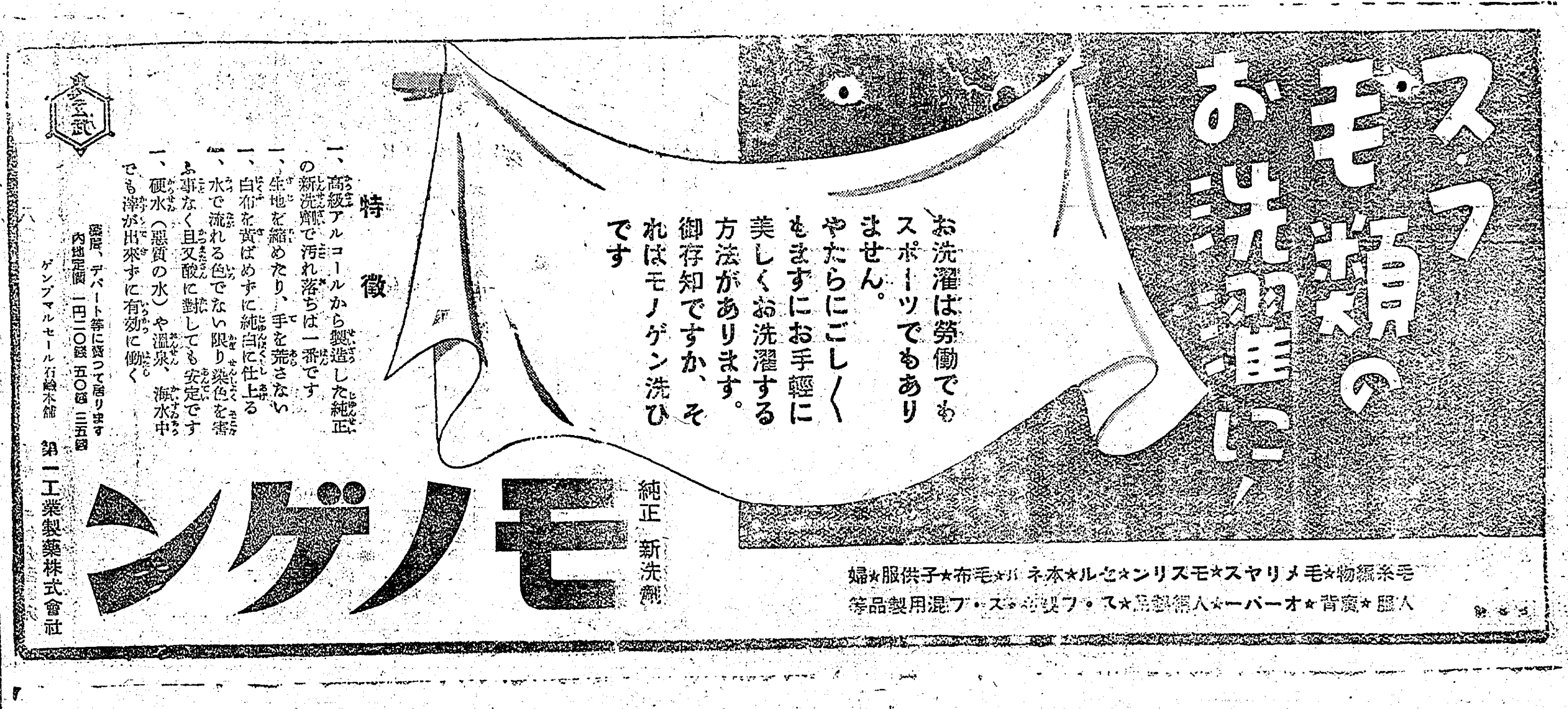
此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計るべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候
海軍工廠御用達
鐵棒、平鐵、しやふと
鐵管、各種レール類
新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尚諸機械類各種取揃へ御來店を御待申上候。
敬具
合資會社　平銅鐵機械商會
平市鍛冶町九〔電話五二二番〕
電略（イ）又八（イ七）
振替東京一五七五二二番
倉庫　平市鍛冶町卅三番地
平市鍛冶町九番地

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市內四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
㋣織田材木商店へ
福島森平市
電話平四六〇番
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田産杉四分板
建具材・便利瓦
●小店員募集
年齢十五歳ヨリ廿歳迄

鑑定項目
名前のみて一代の運命
何でもわかる……
體力　肉体（健康、不健康、相貌）　疾病（病根病勢、病名）に關する一切
活動　職業（適業、不適業）　天運（天運、成功、不成功炎厄）に關する一切
血緣　家族（父母の緣、夫婦の緣子供の緣）有無　男女緣（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町　三六

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。


スフ・毛類のお洗濯に！
純正　新洗劑
モノゲン

お洗濯は勞働でもスポーツでもありません。やたらにごし／＼もますにお手輕に美しくお洗濯する方法があります。御存知ですか、それはモノゲン洗ひです

特徴
一、高級アルコールから製造した純正の新洗劑で汚れ落ちは一番です
一、生地を縮めたり、手を荒さない
一、白布を黄ばめずに純白に仕上る
一、水で流れる色でない限り染色を害ふ事なく且又酸に對しても安定です
一、硬水（惡質の水）や温泉、海水中でも滓が出來ずに有効に働く

藥店、デパート等に賣つて居ります
內地定價　一圓二〇錢　五〇錢　三五錢
ゲンブマルセール石鹸本舗
第一工業製藥株式會社

毛糸編物・毛メリヤス・モスリン・セル・本ネル・毛布・子供服・婦人服・背廣・オーバー・人絹製品・ス・フ製品・ス・フ混用製品等

『モノゲン』市內藥店毛糸店洋品店にあり
代理店
㊣中野洋品店
平二・電五三
小店員募集本年度卒業生數名優遇す

鈴木ら一兩日中送檢

廣汎な關係記錄纏まる

我が國欺詐犯罪史上特筆さるべき超尖端事件としてその展開を刮目されて居た豊間村八幡町生れ鈴木昌雄（四六）に係る前後五年越しの殆ど専門職業的惡の營みは既報の如く當局苦心の大捜査により極めて廣汎に亘る關係記錄も全部纏つたものの如く比較的輕微の廉で昨六日午後一先づ歸宅を許された市內胡摩澤居住青木某を除く一味九名の身柄は愈よ茲一兩日中送檢さるるものと見られてゐる

寒波愈よ退陣か

文字通り催花の雨に

櫻の世界は迫る

今月に入つてから冷雨連日、昨七日初めて霽れたとは云ひ條、依然貧乏搖るぎもせぬ寒波の停滯に、そゞろ花待つ人の心を暗からしめて居る折柄、夜來の降りはどうやら催花の雨らしく氣温もズツと上昇して室內のストーブも愈よ閑却さるゝ程の常態に取り戾された。卯月も既に三つ一を經過した今日今更寒波の逆襲も豫想されず、今度こそ陽の目を見ると同時に滿を持した蕾は超特急のテンポを以て膨れ出し明後十日忠魂祭當日の早咲きを東道に今三春の第一歩に入る氣配となつた

平警防發團式

明九日擧行

去る一日を以て結成された平警防團では明九日午前九時から市公會堂で發團式を兼ね披露會を催すと

雨天の際は平商で

忠魂祭武道會場

時局柄一層の盛會を豫想されてゐる明後十日の忠魂祭當日雨天の際は劍、柔道共武道大會は舊平商道場に於て行ふと

平署外勤受持變更

平署では五日丁派出所の新築に伴ひ受持區域左の如く變更

△平本部長　渡湯識（新川町、月見町、三倉町、大町、倉前町、新田町、佃町、下ノ町）渡邊勳（大工町、番匠町、仲間町、北白銀町、九品寺前、手掴町、鷹匠町、紅葉香梅町）堀井平重（一丁目、二丁目、三丁目、四丁目）

△島崎部長　屋貞四（四軒町、櫻町、磐城跡、柳町）菊地利（南町、小太郎町、十五丁目、菱川町、鍛冶町）

△平塚部長　鈴木要（揚槌小路、紺屋町、材木町）井上正人（長橋町、研町、堂の前、尼子町下、常根子町、梅本、龍子町、三崎町）

△本內部長　兒玉正夫（下川原、五色町、鎌田町、上川原、禰宜町）富井仁彌（立町、正月町、正內町、堤の內、五丁目）小椋勇誠（田町、白銀町）渡邊寅龜（古鍛冶町、久保町、七軒町、新町、道匠小路、八幡小路、揚土町、大館町）

△菊地部長　本田喜八（胡摩澤、杉平、北目、六軒門、六人町、高月台）

日本刀買上げ

來月一日から繼行

日本刀報國運動はさきに平外縣下三市で行はれたが再び來月一日から一週間に亘り日本刀の買上げを行ふ

目下日本刀は非常に拂底し出征將士への供給も充分でない有様なので一口でも多く提出されたいと

平驛軍に凱歌

野田君各種競技に優勝

水戸運輸事務所主催第七回地方通信競技會は七日午前十時十分より水戸市役所會議室で執行され競技參加者は水戸、上野兩驛管內通信技術者で

（一）普通競技A組五名、B組三十六名（二）高速度競技十名（三）電話機通信競技十四名である

競技は午後二時半終了、續いて審査の結果入賞者に賞狀賞品を授與されたが地方關係次の如くである

普通競技2（平）野田照雄　4（植田）久保木拾次郎　5（湯本）若松長治

高速度競技1（平）野田照雄

尙ほ番外競技として來賓の各驛長の模範的競技を行ひ富山植田驛長が三等に入賞した

女床屋さんの赤誠

植田町本町理髮業菅野ナヲさんは女手一つで老母、子供を養つてゐる健氣な女性だが事變以來毎月十七日の公休日にはお弟子さんを連れて渡邊村諏訪神社はじめ附近神社に兵隊さんの武運祈願、附近民からその熱意をほめられてゐる

產業報國に邁進せよ

勞資協調の眞意義について

昨夜、河原田元內相講演

豊間村結核療養所落成式に臨んだ元內相河原田稼吉氏を迎へての產業報國講演會は昨七日夜七時半から縣警察部主催平署並に市役所後援の下に開催、宮城遙拜、前線將士及び英靈に默禱を捧げた後、青柳警察部長、君島知事の挨拶、產業報國聯盟理事長の河原田氏は『新東亞建設と產業人の覺悟』と題し今やその數二千有餘に上る產業報國會が全國普遍的に活躍する日も近きにあらんと劈頭、國策に沿ふ產業戰士の心組みとして『報國』の二字に盡きる產業經營の目的から世界大戰當時に於ける階級鬪爭による產業の衰微等を擧げて勞資協調を力說、更に過ぐる東京大震災を引例しては『ノドもと過ぎて熱さを忘れず產業報國の固い信念の下、財寶の滅失、人命損傷に備へよ』と平素に於ける國民の訓練を強調、國民の活力を振張せねばならぬ所以から長期建設時代に處する銃後民の心構を詳說して前後一時間餘に亘る講演を終へた、次いで產業報國聯盟常任幹事森田良雄氏は『產業報國運動の意義』なる演題の下に新興ドイツの產業施設から歐洲に於ける產業盛衰の今昔をあげてその運動の意義を深めた、聽衆中には片倉女性の姿も相當見へ銃後產業の重要性について深き感銘を與へ青沼市長の閉辭で十時二十分會を閉ぢた

お互自信たつぷり

隱し藝に花咲かす

元入山從業員　小島信君（通信）

曉雲を衝いて軍裝凛々しく集合喇叭も勇ましく午前七時大治山上に集合遙に母國の空を伏拜み必行く旅隊長殿の發聲で萬歲を三唱し君が代の奏曲をなして瀞壽奉祝致しました遙拜式後陣中に於ける第二回新年祝賀式が擧げられ陣中料理の酒肴壽留女隊栗其他山なす御馳走にて禿た頭の隊長初めチヨボ髭八の字不精髭ト髭下は將軍氣取りの戰友同志は仕度は卷脚絆に靴をはき思ひ〳〵の隱し藝に花を咲かせ笛を吹く飯盒の鑵醬油樽の太皷チンドン屋の戰捷祝賀萬歲等腹を抱へて部屋が裂ける許りの大變な賑やかさであります。隊の表門には松と竹各室には神棚が設けられ御供餅を上げ七五三繩を飾り內地と寸分かわり有りません私等の部屋にも戰捷を祝ひ神前には流石は戰地の為御供餅とミカン、羊カン、煙草、ユデアヅキ、罐詰、小餅に實包で此點は內地と違ふ樣に思はれます。宴會の式場には皆々樣から戴いた日の丸が部屋中飾られ私が入山分會から戴いた赤たすきも戰捷の御正月氣分を發揮して祝つて居るかの樣に見へます御雜煮もタヌキ腹になる程戴きました。

泥クリーム

市內鎌田町出身　高田功君

其後も皆丈夫でせう、俺も達者だ、孝の寫眞出來たら送付を乞ふ、男の寮室は今迄と同じか否や、通信なきため折あり次第賴む。それから四郎さんと藤間の幸ちやんから俺の私物屆いた由便りあり、わが家からは何等の便りなし。常磐双葉山逐に敗れたね双葉山も人間だ、何時かは敗れる筈、戰地は毎日雨、內地の入梅の樣だ。泥濘膝を沒す、連日行動顔迄泥のクリームを塗つてゐる、戰正に酣、降雨のためその苦勞並大ていでない、何時頃晴天になるか判らぬ。三月十六日

看護婦自殺

好間村上好間久助二女看護婦石川ひさ（二二）は一日夜自宅で劇藥自殺を遂げた、不治の病を苦にしたもので昨年三月も同様自殺をはかつたことがある

石城ゆかりの鈴木屬

海軍省から表彰さる

海軍省では今回多年海軍兵事に功勞のあつた人々を全國から四十九名選拔、軍事功勞者として表彰銀盃を授與したが本縣では縣社寺兵事課勤務の屬鈴木末太郎氏が輝くこの榮譽をうけた

氏は本郡下小川村出身、曩に石城郡書記として佐瀨、水野兩郡長時代の兵事係を勤め郡制廢止と共に縣廳入りをして今日に至つた事務家である

河原田氏ら歸る

昨夜住吉屋本店に一泊した河原田元內相は八日午前七時二分平發で歸京、君島知事、青柳警察部長も同日午前八時三十分で歸廳

・。。。た花見取締り

平署業者と懇談

お花見近いけふこの頃、花の松ケ岡に時局柄藝者衆の出入を禁止する如き噂があるが、右について平署ではそれは旅藝人との聞き違ひだ、然しハメをはづしたドンチヤン騷ぎや衛生方面は銃後体力增進の叫ばれてゐる折柄感服出來ないといふご意見。近くその取締りについて藝妓屋、料理業者を招いて懇談すると

市長さん達のお宿

昨報、來る十五、六の兩日市公會堂に開かれる北海道東北六縣市長會議に出席の市長助役宿舍は左の如く決定した

◇市內住吉屋本店＝神田（八戶）小野寺（釜石）澁谷（仙臺）山崎（石卷）登坂（米澤）同住吉屋支店＝熊田（鶴岡）齊藤（酒田）同甲陽館＝佐藤（福島）菊地助役（若松）村井（郡山）

◇湯本町山形屋＝伊藤助役（札幌）齊藤（函館）河原（小樽）松柏館＝土居（室蘭）佐藤（釧路）渡邊（帶廣）

◇四倉町柏屋＝工藤助役（弘前）千葉（青森）大沼（山形）村地（秋田）海氣館足立助役（旭川）大矢（盛岡）

獻金

市內十五丁目第一校五ノ一岡田早苗君はお小遣ひ一圓に銀紙百五十匁を添へ、又市內中鹽和田榮君外五名は酉小屋の賽錢一圓を何れも恤兵金として市役所寄託

その勞酬いらる

紹介所落成式當日

勤續者に記念品

市役所前に新廳舍成つた平職業紹介所の落成式は都合で延期されてゐたが愈よ來る十一日午前十一時から市公會堂に開かれる、同所ではこの日をトし優良連絡係員二名、職業指導（小學校訓導）功勞者一名、永年勤續優良從業員十名を表彰、夫々記念品を贈りその功に酬ゆることゝなつた

瀧野川町松谷正治氏（三八）

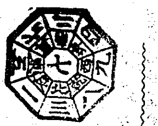
大工町鈴木ヤスさん（三四）

九日（小名濱測候所發表）

滿潮　前四、三〇　後六、三五　干潮　前一一、五五　後——

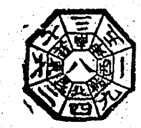
十日

滿潮　前五、〇五　後七、四〇　干潮　前一二、二五　後一二、二五



新四月九日　日曜　丙子　先負　成　虚宿　舊二月二十日

▲一白　健全の歩調を採れば運氣至つて吉なるべし▲二黑　他に心を散さず地味に働けば大吉日となる▲三碧　志を堅くし精根の限り働けば失ふことなし▲四綠　忍ぶべきを忍ばざれば生がいの計を誤るべし▲五黄　小事に拘捉せられて大事に手落を生じ易し▲六白　事は少々長引くと雖も願望は成就すべき日▲七赤　人言を輕んじ長上をべつする時は破めつを來す▲八白　きうくつを忍べば後はいう〳〵たる地位に昇るべし▲九紫　目上目下の苦勞より共たほれとなることあり



新四月十日　月曜　丁卯　佛滅　收　危宿　舊二月二十一日

▲一白　行動のにぶり勝なる日世話事及び移轉新築凶▲二黑　平運にあんどして心に緩みなくよく働くべし▲三碧　人に當ること和かなれば逆に勝利を得べし▲四綠　目に見へぬやうにして少しづつ運氣直る日▲五黄　飲食をつゝしみ身を細かに動かせば吉日となる▲六白　周圍の事情を考へ横道に進れず勵むが吉し▲七赤　從來行きなやめる事も圓滿に運びはかどる吉日▲八白　無事なれども忍ぶ程には進展し行かざる日▲九紫　悲運改まり刻々と吉に向ふとき初めに吉

平市慶弔錄

△出生　本籍南町東京市城東區龜戶町安齋彦二氏二女美代子さん

○婚姻　山梨縣日川村興石金太郎氏（四四）四軒町松浦アイさん（三六）　東京市麹町區五番町天川俊雄氏（三〇）材木町新妻芳子さん（二五）　双葉郡龍田村松本晉一郎氏（二四）紺屋町柳下テル子さん（二二）　東京市

鐵屑買入價格並ニ販賣價格

日本鐵屑統制株式會社へ納入値段

種類＼區分	電氣爐用 千瓩ニ付	平爐用 千瓩ニ付
壹級品	一〇〇圓	九七圓
貳級品	九七圓	九四圓
參級品	九三圓	九〇圓
級外品	八〇圓	八〇圓
並ダライ粉	八〇圓	八〇圓
銑ダライ粉	八〇圓	八〇圓
ブリキ屑		六八圓

各鐵工業者ヘノ納入値段

種類＼區分	賣値千瓩ニ付	買値千瓩ニ付
古銑鐵	一〇〇圓	九七・〇〇
古鐵材	一三〇圓以下	一二五・〇〇以下

上記ノ通リニ各品共販賣致シ居候間當店ノ買入價格ハ何レモ千キロニ付金參圓宛ノ手數料ヲ差引タル値段ニテ買入致ス可候間之ヲ御利用下サレ度候

註

1、當地附近ヨリ發生ノ鑄物屑ハ需要ニ滿タザル現情ニ付キ鑄物屑販賣ニ關シテハ平鐵工組合ト連繫ノ上一般業者ノ從來ノ實績ニ依リ公平ニ販賣致度キ考ヘニ候ヘバ御諒承願度候

2、鐵屑類ハ日本鐵屑統制株式會社ノ指定先及ビ指定量以外ハ絕對販賣出來ザルモノニ付キ堅ク御斷リスルト共ニ是非必要ノ工場ハ統制會社ヘ配給方申請セラレ度候

3、古鐵材ハ一般鍛冶業者等ノ使用セラルル材料ニシテ配給ニ便利ナル組合モ見當ラズ候間御入用ノ分丈ケ宛千瓩一三〇圓以下ノ割合ヲ以テ販賣致可候

日本鐵屑統制株式會社

指定商　山田商店

平市十五丁目六番地
電話　五五五番

安齋外科醫院
（平市田町）
電話四七五番

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

北川外科
平市新川町
電四六四

高久病院
院長　高久忠
電話五一三番

夜間診療

胃腸性病

內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科

專門

松村胃腸性病科醫院
（平市南町　電一〇七番）

（見習看護婦募集）

吸入用酸素
純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

計量器
体温器
寒暖計

秤ノ取繕垂糸・修繕致シマス。

關內藥局
電話四〇番